

浦添一コザ 前半、積極的な守備で清浜の攻撃を封じるコザの名嘉瑞葉(右端)と宮城愛澄(左端)
 —3日、八重瀬町の民志館社会体育館(高辻浩之撮影)



コザ女子 興南男子 頂点

県高校新人大会

県高校新人体育大会は3日、県内各地で最終試合が行われた。ハンドボールの女子決勝はコザが26、19で清浜を下し、29年ぶりに初回の頂点に立った。男子決勝は興南が那覇西に30-24で勝利し、15連覇で

35回目の優勝を達成。なおまたは団体移動で初会から年ぶりに初回の栄冠を飾った。浦添は昨年は平安名はな・泉水ほかが注目選手が相次ぎ、泉水は個人競技と合わせて出場した。卓球シングルは男子の牧志修武(宮城)が団体、ダブルスと合わせて3冠を達成。女子は田畑明希(興南)が頂点に立った。

ハンドボール

北中	38	25	明葉付
コザ	26	19	清浜
興南	30	24	那覇西
浦添	10	16	清見

堅い守備線突破許さず

「相手のポストにやられるのは絶対ダメ」。試合前からそう確認して決戦に臨んだコザ。横一線守備の中央を守った名嘉瑞葉と宮城愛澄が存在感を示す。

ハイライト

に対し、2人のどちらかが常に体を当て、パスする隙に入れないように守備を許さず、神速は堅いロングシュートを打たざるを得ない場面が目立った。名嘉は「外のシュートにも手を出し、カバーし合いながら守れた」と平癒を語った。

後半に攻撃修正 逆転 興南男子

前半は速攻から攻撃。大勢主導で那覇西の守りのミスが多く、何度も逆転。全何度も攻撃し、6連続得点を許して逆転ハンドボールの頂点に輝いた。後半は前半と異なり、守りでも横一線守備でポスト選手を自由にさせず、サイドが中央に切れ、守りのずれをつくり、後半はわずか10失点。高校入学後、自身初の先発を務めた。



興南一那覇西 後半、試合の流れを変える逆転弾を放つ中興大勢主導

コザ女子 名嘉と宮城 存在感

一方、けがで主力を2人欠く中、攻撃では積極性に課題が残った。佐平牧志監督は、全選手を鍛え上げ、平牧の能力には大賛賞を捧げるが、個々の能力には大賛賞を捧げるが、相手守備のずれが、守備のずれがないから、自信が無いように見える」と監督を批判する。

後継者、初陣で優勝

38年以上に渡り強豪の興南男子ハンドボール部を率いてきた黒川隆明監督に、後継者としてベンチに入った監督としてベンチに入った黒川隆明監督は、初陣で優勝した。黒川監督は、興南男子ハンドボール部を率いてきた黒川隆明監督に、後継者としてベンチに入った監督としてベンチに入った黒川隆明監督は、初陣で優勝した。



今大会から半配を振る興南の黒川隆明監督



優勝したコザのメンバーら



優勝した興南のメンバーら

牧志男 田畑女

卓球
 男子
 女子

コザ	26	19	清浜
興南	30	24	那覇西
浦添	10	16	清見